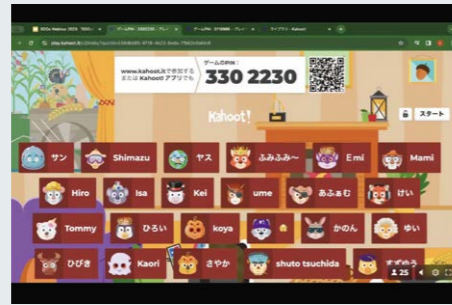


福島

アントレプレナーシップ教育

持続可能な社会の実現力を育てる

多様な課題解決に挑戦し、



独立行政法人国立高等専門学校機構
福島工業高等専門学校



地球的な視野から人、社会、環境に配慮し、 持続可能な社会の発展に貢献できる 未来のエンジニアを育成する

本校は、開校以来60年、5年一貫の専門教育を施すユニークな高等教育機関として、これまで約1万名の実践的技術者を社会に輩出してきました。現在も、社会の急速な変化に対応しつつ、創造性のある実践的技術者の育成に向け様々な取り組みを行っています。令和元年度からは、「持続可能な社会発展を目指し、グローバルに活躍する次世代技術者を育成する」をスローガンとしています。「持続可能な社会」、「グローバル」、「ローカル」、「次世代技術者」という4つの視点を持って、ESDにも取り組んでいます。

■組織・団体に取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について

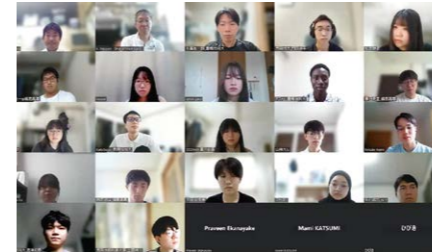
- 上: 視察研修:企業見学の様子
- 下左: 視察研修時グループミーティングの様子
- 下中: オンライン講義:ディスカッションの様子
- 下右: 視察研修:地域文化の学び(小名浜港湾)

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
 電話 0246-46-0705
 FAX 0246-46-0713
 E-mail soumu@fukushima-nct.ac.jp
 URL <http://www.fukushima-nct.ac.jp/>



活動紹介

SDGs Webinar 2023



オンライン講義:参加者集合写真



最終プレゼン発表の様子

プロジェクト概要

福島高専が主催し、長岡技術科学大学・豊橋技術科学大学との共催で実施しているプログラムです。SDGs Webinarは、SDGs17の理解を深めるとともに、アントレプレナーシップ(起業家精神)教育も取り入れています。企業見学を含む視察研修と座学を通じて、日本文化や歴史、環境への見聞を広め、SDGs17に繋がる具体的なイメージの発想力やグローバルリーダーに必要な集団でのコミュニケーション能力の向上を目指します。さらに、米国シリコンバレーの起業家達や大学教授などによる講演によりマインドセットの醸成を行い、グループワークによるSDGs17を取り入れたビジネスモデルプランの作成に取り組みます。ビジネスモデルプランの発表では、起業家を含む審査員に評価されます。

ESD実践のポイント

高専生と大学生と一緒にプログラムへ参加し、所属校の枠を超えたコミュニケーションを通じて、個々の視野を広げ、互いに高め合うことができます。また、一連のワークショップを通して、SDGs達成に向けた条件やマインド作り、世界の取組事例、アイデアの見つけ方やブラッシュアップの仕方等について学びます。SDGs Webinar 2023では、米国シリコンバレーで起業した日本人講師達の講演、日本国内で起業した講師からの海外進出についての講演を企画し、グローバルにSDGsやアントレプレナーシップについて考える機会となりました。高専生の実践力を活かし、困難な状況に置かれても、学生自身が「自分で創っていこう!」と、多様な課題解決に挑戦する意識を持つ技術者の育成を目指しています。

担当者からのメッセージ

2023年度は本校学生16名、長岡、豊橋技術科学大学生8名の参加者により実施しました。計6回に亘り行ったワークショップではシリコンバレー在住の起業経験者や両技科大から講師を招き、全ての講義はインタラクティブな形式で実施され、参加学生が積極的に質問する姿が印象に残っています。最終プレゼンテーションでは講師の方々から厳しい指摘を受ける場面も見られましたが、プレゼン資料については高い評価を受け、参加学生の自信につながったのではないかと思います。



国際化・SDGs推進センター長
梅澤 洋史さん